

現地確認不足が架空線事故につながります！

～ 現地確認や作業員への具体的な安全対策指示により、事故を防ぎましょう～

架空線事故ですが、令和 5 年度は 1 件と大幅に減少しましたが、今年度は 1 月末までに 5 件発生しています。

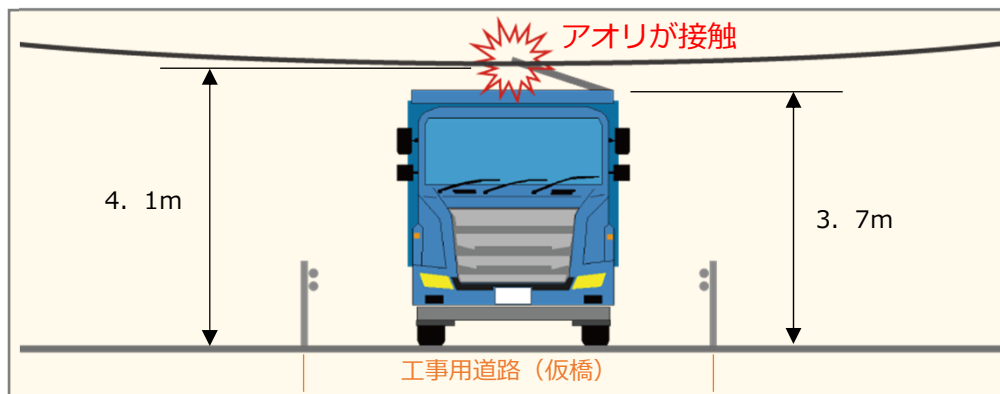


架空線事故は、電気・通信線の切断による住民生活への影響など、**周辺地域へ多大な影響を及ぼす可能性があり、社会的責任が問われる事故になります。**

今一度、**現地確認を徹底**するとともに、**赤旗や防護カバーなどの具体的な安全対策を作業員に指示し、適切な安全対策をお願いします。**

事故事例

コンテナ上部のアオリを格納せず、事故発生



【事故概要】

10tトラックが伐採材 (除根) を搬出するために工事用道路に進出した際、コンテナ上部のアオリが架空線 (通信線) と接触したものの。

【主な要因】

コンテナ上部のアオリを格納していなかった。



- 架空線事故の防止は、**架空線との適切な距離を保つことが基本**です。重機やトラックなどが架空線に接触しないよう、アーム・ブームやアオリ等の格納を徹底しましょう
- 高さ制限装置 (赤旗) や防護カバーなどの**具体的な安全対策を作業員に指示**しましょう



高さ制限装置 (赤旗)、防護カバー、のぼり旗などを設置

重機の操作前には周囲の安全確認を確実に！

～ 重機オペレーターと作業員、監視員が連携し、事故を防ぎましょう～

重機による「挟まれ・巻き込まれ」事故は、死亡に至るリスクが高い事故です。わずかな油断が大きな事故につながることを肝に銘じ、重機オペレーターと作業員、監視員が連携して事故を防ぎましょう。



事故事例

安全な場所への退避を確認せず、事故発生



【事故概要】

土留鋼矢板の圧入作業において、作業員の左足が圧入機のオーガ駆動部とステップの間に挟まれたもの。

【主な要因】

作業員が安全な場所へ退避したことを、重機オペレーターが目視で確認していない。



「動かしても大丈夫か？」と声かけ
(作業員を目視で確認していない)



「OKです」と回答
(足が挟まることを想定していない)



重機オペレーターと作業員、監視員は

- ・ **周囲の安全確認**
- ・ **双方で合図確認**
(**分かりやすい合図で**)

を徹底しましょう



労働安全衛生関係について

- 1) **労働者死傷病報告の報告事項が改正**され、**電子申請が義務化**されました
(令和7年1月1日施行)

※令和7年1月1日より、労働者死傷病報告のほか、以下の報告も電子申請が義務化

- 総括安全衛生管理者/安全管理者/衛生管理者/産業医の選任報告
- 定期健康診断結果報告
- 心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告
- 有害な業務に係る歯科健康診断結果報告
- 有機溶剤等健康診断結果報告
- じん肺健康管理実施状況報告



詳しくは、
厚生労働省HPをご覧ください



- 2) 作業を請け負わせる**一人親方等**や、同じ場所で作業を行う**労働者以外の人**に対しても、**労働者と同等の保護が図られるよう、必要な措置を実施することが事業者**に義務付けられます
(令和7年4月1日施行)



詳しくは、厚生労働省のリーフレットをご覧ください

